

津幡の空から

石川県学校生活協同組合

2020・8月号

石川県学校生活協創立71年目（信頼・安心・安全・適正・平等・協働・貢献）

「結・秋の全員利用運動」の商品選定始まる！

—感染防止・経済拡大・災害応援—

石川県学校生活協同組合理事長 細野祐治

今年度から年3回の全員利用運動それぞれに一言テーマを設けることにしました。

今回は「結」です。7月現在も新型コロナウイルスの感染流行の収束が見えてきません。今は、感染拡大を抑える取り組みと経済の拡大を広げる取り組みをどのように進めるかが最大の課題です。そのために学生協でも克服に向け「秋の全員利用運動」を位置付けます。

一つには、感染防止をより進める取り組みとして外出自粛にもつながる商品を選定します。

二つには、売上げが低下している良品を取り上げ、その地域や会社を助ける商品を選定します。

そして、三つ目として、7月初旬に九州各地を襲った豪雨災害地域への応援としても、この全員利用運動を位置付け、売上げの一部を被災地へ義援金として送ります。

この3つのねらいを一言で表したのが「結」です。私たちの全員利用運動が、多くの人たちとのつながりにすすめたいと思います。

一品は自分の為に、もう一品はつながりのある方にプレゼントしませんか。

取り組み開始は、9月末からです。ご協力をお願いします。



6月末経常剰余金決算 計画よりは268万円の改善！でも415万円の赤字。

6月の月次決算は、経常剰余金415万円の赤字です。その状況を分析しますと、単月で剰余目標をクリアしたのはフレッシュ共同購入のみでした。目標比113%（前年比118%）で、事業の柱が大健闘しております。厳しい事業は営業43%、車検58%、ガソリン事業63%、代行事業40%です。指定店一般については学校訪問が一部可能となり、数字が回復しつつあります。私たち職員が担っている自主供給の累計は目標比105%、指定店は77%で、総合計で目標比93%、前年比98%となっています。おかげ様で、三か月連続で目標剰余をクリアしました。

この調子で7月も職員一同頑張ります！よろしくをお願いします。

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

バレエ「パリの炎」 北本 豊春

クラシック音楽では、実際のバレエ公演を鑑賞すると各曲の意味合いが分かります。ロシアの有名なバレエ団ボリシヨイバレエの二〇一七年六月七日公演で、感銘を受けたのが、『パリの炎』です。王子と王女の夢の物語を扱った『白鳥の湖』や『眠りの森の美女』とは異質の筋書きを構成していて、主題はフランス革命です。マルセイユの郊外で美しい農家の娘ジャンヌはコスタド・ポールガール侯爵に執拗に言い寄られます。兄のジェロームが助けますが、地下牢に閉じ込められてしまいます。侯爵の娘アデリーヌは、胸を痛めジェロームを逃がします。ティルリー宮殿に『ラ・マルセイユーズ』が響き渡り、ジャンヌと恋人のフィリップが加わる革命軍が雪崩れ込んできます。ジェロームはアデリーヌと愛を誓います。貴族への断罪が始まり、侯爵は死刑の宣告を受けます。刑場へと曳かれる侯爵の姿を目にして、娘のアデリーヌは何とか助けようとしています。ジェローム、フィリップ、ジャンヌの三人は、アデリーヌを引き留めようと懸命になります。ところが邪悪な老女ジャックカリスは、アデリーヌが侯爵の娘だと暴露します。群衆の怒号の中で、アデリーヌも断頭台の露と消えるのです。民主主義の政治思想に繋がるフランス革命は、重要な歴史的一幕であり、巨匠ベートーベンや哲学者ヘーゲルも若い時代に感動した出来事でした。ただし、革命の中では、様々な悲劇が生じていた事実を、この演目は辛辣に伝えています。

編集後記 野菜との会話

毎日野菜の世話をしているといつの間にか、野菜たちと会話をしています。隠元豆の葉っぱがくるんとしていると「水が欲しいんか?」、ナスの茎が下がっていると「待ってよ、支えなくても見つかるよ」と「ごめん、こんなに大きくなってしもたんか」、葱の苗が大きくなり植替えが遅れていると「もうしばらく待ってよ」と「もうしばらく待ってよ」とつぶやいています。世話をしなければならぬ野菜の作業の方が、私の仕事量よりも多くて、世話が完全に遅れ、謝っているのです。でも、収穫が順調だと「ありがとな、ありがとな」と感謝しながら仕事をしています。8月も下旬になるともう大根を播かねばなりません。冬の準備です。(道祐)